ターボハムログ「データ修正編」（ 超初心者向け ）

★ここではハムログデータの修正について記載しています
　Ⅰ．QSOデータの修正、データの削除
　Ⅱ．QSOデータの並べ替え
　Ⅲ．QSOデータのチェック
　Ⅳ．QSOデータの結合
　Ⅵ．QSOデータをエクセルファイル出力

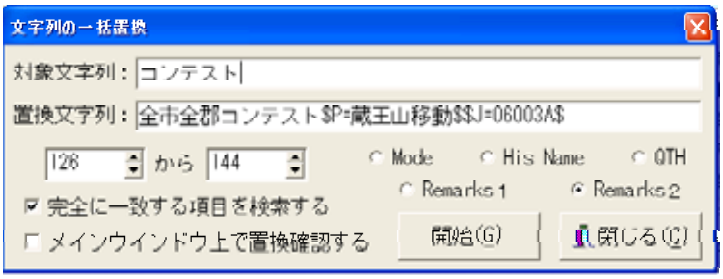
「データ入力画面」や「データ編集画面」の右側の ▲▼矢印をクリックすると直ぐ上や下のデータが選べます。

【データ編集画面の右側】

Ⅰ．データの修正（QSLカード受領マークを付ける）、データの削除したい場合。

★★ハムログにデータがある程度入力されますと、データ入力ミスやデータを修正したくなる場合が出てきます。
①入力中にミスを修正したい場合は、修正したい所をクリックし、修正します。終了後は〔Save〕します。
②以前のデータ修正は、〔データ入力画面〕にある場合はそのデータをダブルクリックします。
または〔検索〕から〔コールサインで検索〕か〔コールサイン部分文字列検索〕でデータを呼び出します。
〔修正画面〕になりますので、①のように修正します。
＝＝＞削除したい場合は、呼び出したデータを〔修正画面〕の「Call」の所で「右」クリックします。一番上に「削除」が出ますので、そこで「指をはなせば」ば、「削除してよろしいですか？」「はい」をクリックします。
下部に「このウインドウを終了する時に削除します」のメッセージが出ます。☒ をクリックしますと削除終了します。

★★QSL蘭にQSLカード取得マークを付ける場合。
QSLカードを受領した時、QSL蘭の3文字目にマーク”＊”を付けます。
前の②と同様に、受領したカードのコールサインを次の検索方法でデータを探し出します。
[検索]→「コールサインで検索」か「コールサイン部分文字列」で検索します。
データが表示されます。複数表示された時は「日付・時間」が合ったデータをダブルクリックします。
〔修正画面〕が表示されます。Ins キーを押します。右上の☒で終了します。
==>他の項目も修正した場合は「Save」をクリックし、「データを修正してよろしいですか？」「はい」クリックして下さい。
そのデータのQSL蘭の3文字目に”＊”が入ります。　〔例、JP＊〕
③Remarks1か2の文字列を一括変更する場合は、〔オプション〕〔データーの保守〕〔文字列の置換〕を選びます。〔文字列の一括置換画面〕に変わります。
　「対象文字列」に修正する文字列を入力します。
　「置換文字列」に修正後の文字列を入力します。
　修正するデータの「開始番号」を入力します。
　修正するデータの「終了番号」を入力します。
□完全に一致する項目を検索する、にチェックを入れたほうが良いです。



【文字列の一括置換画面】

その他の項目もチェックして下さい。
良ければ「開始」をクリックします。　「〇〇個置換しました。」のメッセージが出ます。
なお、Remarks1か2に文字列の記載がない場合は、「対象文字列」に「￥￥￥￥」を記入します。

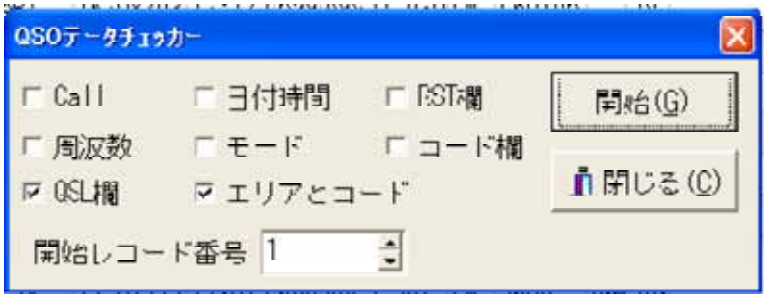
Ⅱ．QSOデータの並べ替え

★★新しいデータから過去に遡ってデータを入力した場合、また途中で交信したデータを入力した場合は、時系列が不順になります。時々データの並べ替えを行います。
①初めにデータのバックアップを取ります。
②データの並べ替えを行います。
〔オプション〕〔データーの保守〕〔日付時間順にソート〕を選びます。〔日付時間順にソート画面〕に変わります。
並べ替えするデータの「開始番号」と、並べ替えするデータの「終了番号」を入力し、「OK」をクリックします。
「XX番－YY番まで、日付時間順にソートします」、「念のたバックアップはとってありますか？」 が表示されます。
「OK」をクリックします。　「日付時間順にソートしました。」

Ⅲ．QSOデータのチェック

★★QSOデータを正しく入力したと思ってもミス入力があります。QSLカード印刷の前にデータをチェックします。
＝＝＞特に間違いやすい文字：O（オー）と0（ゼロ）、1（いち）とI（アイ）、プリフィックスやサフィックスの欠落など。
①〔オプション〕〔データーの保守〕〔QSLデータチェッカー〕を選びます。

〔QSLデータチェッカー画面〕に変わります。
チェックしたい項目にチェックを入れ、
「開始」をクリックします。
ミスがあれば、
QSO番号とミス内容のリストが表示されます。
②ミスのデータ番号とミス内容をメモします。
③〔検索〕〔レコード番号で検索〕で「番号」を入力します。
④修正したい所をクリックし、データ修正を行います。　終了後は〔Save〕します。



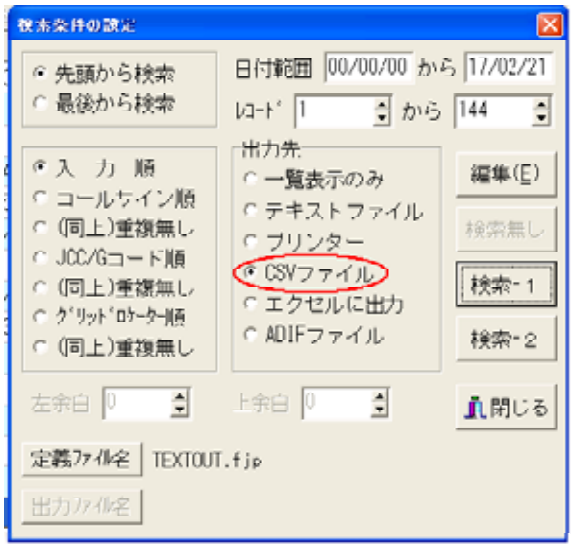
【QSLデータチェッカート画面】

Ⅳ. QSOデータの結合

★★パソコンを複数使用していてQSOデータを1本化したい場合はQSOデータの結合を行います。
★ハムログデータの結合（Aパソコンのハムログデータに Bパソコンのハムログデータをコピーします。）
①始めに両方のパソコンデータのバックアップを取ります。
②Bパソコンのハムログデータを取り出します。
〔検索〕　→〔複合条件検索と印刷〕を選びます。

●何時も使うパソコンを（A）として、
●時々使うパソコンを（B）にします。

＊＊検索条件を設定します＊＊
全部のデータを指定します
日付範囲　00/00/00　から　17/02/21
または（ ﾚｺｰﾄﾞ 0 から144 ）
○CSVファイルを選びます
「定義ファイル名」をクリックして、
「場所」と「出力ファイル名」を決めて下さい。
（例）デスクトップまたはUSBメモリー：¥loglistBPC
次ぎに、検索なしをクリックし、開始します。



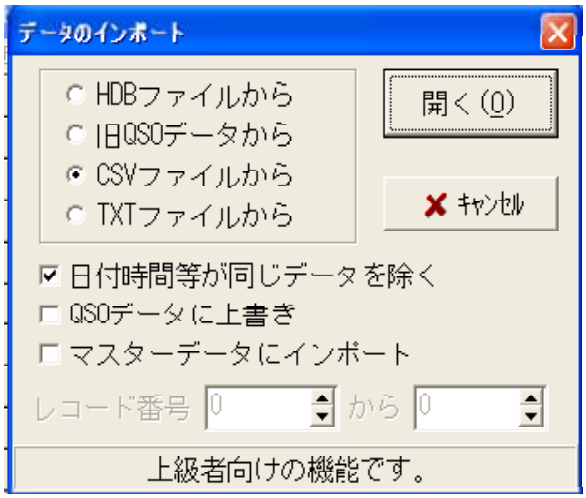
【複合検索の画面】

＜デスクトップに「loglistBPC.csv」と言うファイルができます。＞
デスクトップを指定した時は、USBメモリーに「loglistBPC.csv」ファイルのデータをコピーします。

＝＝＞場所を指定しない場合は、Hamlogファイルのある所に、出力ファイル名を指定しない場合は、「loglist」名に、または前に作ったファイル名に上書きされます。

③AのパソコンにBのパソコンデータを合成します。
Aパソコンのハムログを起ち上げます。
〔オプション〕→〔データの保守〕→〔データのインポート〕を選びます。「データのインポート」の画面に変わります。

＊＊インポートの設定します＊＊
○CSVファイルを選ぶ。
□日付時間等が同じデーターを除くにチェックを入れる。
「開く」をクリックし、ファイルの場所とファイル名を指定します。
（例）USBメモリーのデータの「loglistBPC. csv」と言うファイルを選びます。「開く」をクリックします。
メッセージが出るので「OK」をクリックします。



【データのインポート画面】

＝＝＞「おかしなデーターがある」と「バットメッセージ」が出る場合があります。
1～2個の場合は継続をして下さい。それ以上の時は中止して下さい。

（全体の取り込みデータが悪い。例えばQSOナンバーが入って項目がズレてしまう。CSVファイルを開きチェックします）
コピー（結合）が終わるとハムログソフトが閉じます。
　＝＝＞CSVファイルを開いたまま結合しますと「データがありません」となりますので、エクセルを終了して、
やり直して下さい。
④再度Aパソコンのハムログアイコンをクリックし、起ち上げます。
データーが上手く結合されたか確認して下さい。
　＝＝＞特に「バットメッセージ」が出ましたら、「QSOデータのチェック」でチェックし、修正して下さい。
7、8、0エリアのデータは、〔Code〕で初めの”0”ゼロが削除される場合があります。
〔Code〕の初めに”0”ゼロを加えるか、F5～F9を押して市区郡町村名の頭文字を入力して、データを修正して下さい。
⑤Aのパソコンのバックアップを取ります。データは時々「日付時間順」に並べ替えを行います。

Ｖ．QSOデータの検索

★★〔検索〕には用途に応じた色々な検索方法があります。 目的に応じた検索方法をお使い下さい。
〔環境設定〕〔キー設定〕でキー設定をしておくと便利です。
●〔コールサインで検索〕は、コールサインのどこかの文字が間違っていても出てきません。
そんな時は、「コールサイン部分文字列」で検索して下さい。
●〔コールサイン部分文字列〕は、コールサインのプリフィックスやサフィックスを入力し検索します。
またはプリフィックスやサフィックスの一部やミックスして検索します。一部該当したデータが全部表示されます。
QSLｶｰﾄﾞが届いた時に「受領ﾏｰｸ」”＊”を付ける時などに使います。
〔例えば〕QSOする前にサフィックス等を入力し、以前にQSOしていたか等のチェックに使います。
●〔レコード番号で検索〕は、「QSOデータチェッカー」でミスが見つかった時は便利です。
●〔複合条件検索と印刷〕は、データ抽出等をする時に便利です。（次の「エクセルファイルに出力」を参照）

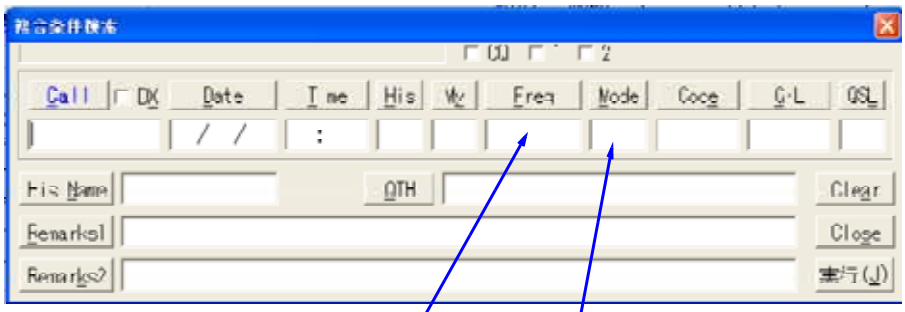
Ｖ．エクセルファイルに出力

★★アワードやコンテストログ作成の時にエクセルファイルに打ち出したい場合。
★「検索条件なし」の場合は、「データの結合」の②と同様の操作をして下さい。
特定の条件でデータを検索（抽出）したい場合は

検索なし　＊検索条件を設定します＊
日付範囲　17/01/01　から　17/03/15
（または　ﾚｺｰﾄﾞ　800　から 1234　）
○エクセルに出力　を選ぶ
「定義ファイル名」をクリックして、「場所」と「出力ファイル名」を決めます。
（例）デスクトップ：¥loglistTEST１７
検索なし をクリックし、開始します。

＜デスクトップに「loglistTEST17.xls」と言うファイルができます。＞

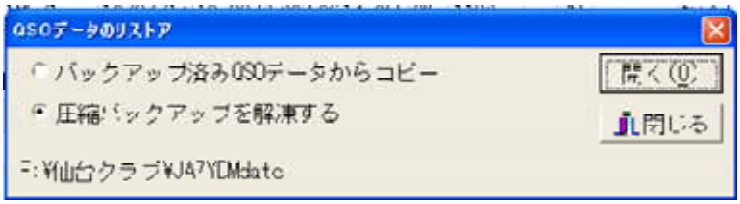
検索あり　＊検索条件を設定します＊
日付範囲　17/01/01　から　17/03/15
（または　ﾚｺｰﾄﾞ 800 から1234 ）
○エクセルに出力　を選ぶ
「定義ファイル名」をクリックして、「場所」と「出力ファイル名」を決めます。
（例）デスクトップ：¥ loglistTEST１７SSB
検索1 をクリックします。
「検索条件の画面」がでますので必要項目を入れます。
〔例〕周波数、モード入力し「実行」をクリックします。



周波数とモードを指定したデータがエクセルファイルに抽出されます。
＜デスクトップには「loglistTEST17SSB.xls」と言うファイルができます。＞

【複合検索条件の画面】

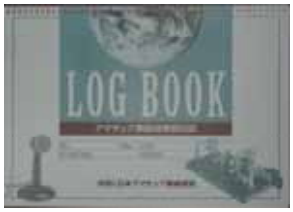
★★　データを復元したい場合。
新しいパソコンに変えた場合はデータをコピー（リストア）します。またはデータを入替したい場合にはリストアをします。
＜注意、データは上書きされます。＞
ハムログを起ち上げます。（新しいパソコンの場合はハムログをインストールして下さい。）
〔ファイル〕〔QSOデータのリストア〕を選びます。
「QSOデータのリストア」画面が出ます。
○「圧縮バックアップを解凍する」　にチェックを入れます。
〔開く〕をクリックしますと、「データファイルの場所」が表示されます。
データファイルの場所とファイル名を指定し、
〔開く〕をクリックします。



【QSOデータのリストアの画面】

このファイルを解凍しますか？
今、使用しているQSOデータに上書します
E:¥・・・・・BK20170310_1200_0012345
はい　いいえ

右のような警告が出ます。
データを上書きする場合は「はい」を、
中止する場合は「いいえ」をクリックして下さい。

上書きした場合はハムログが終了します。
再度ハムログを起ち上げ、データを確認して下さい。
次ぎに、〔表示〕〔 Cfm/Wkd マスターデータ集計〕を選び、〔再集計〕をクリックして下さい。
「集計」後は「閉」をクリックし、終了します。

★★　ハムログが何かの原因で破損してデータが出てこない場合。（パソコンが使える場合）
データの復元方法
●ウインドーズ8～10の場合は、左下の「エックスプロラー」（黄色い机見たいなアイコン）または「マイコンピュータ」から「ドキメント」をクリックします。そこに「HamlogBak」があります。
●ウインドーズXPの場合は、「マイコンピュータ」から「マイドキメント」をクリックします。そこに「HamlogBak」があります。
その中に〔例：BK20170310_1200_0012345.zip〕ファイルが幾つかあります。
BKの次の数字が年月日ですので、日付が新しいデータをUSBメモリーにコピーします。
次ぎに、前の「データを復元したい場合」を参考にして復元します。